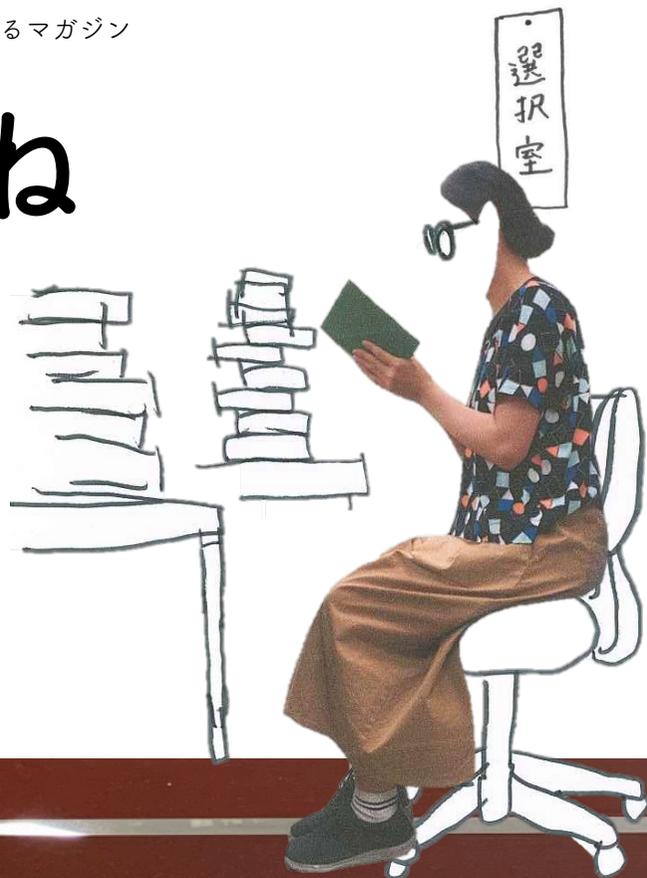


司書の顔がうっすら見えるマガジン

# めがね

第二回

サイン  
が気になる。



## 名古屋市鶴舞中央図書館について

大正時代に開館して以来、誰に頼まれたわけでもないのに、あらゆる本をせっせと収集・保存し続け、現在の蔵書は約120万冊。人々の念頭からこぼれ落ちてしまった記憶の保存庫と化している。

利用は無料。愛知県に在住・在勤・在学であれば、誰でも貸出券を作ることができる（本人確認が必要です）。貸出券は名古屋市図書館21館共通で、一度作ればどこの図書館でも本の貸出や返却、予約が可能。大切なことを忘れていた気がするあなた、いますぐ図書館へお越しください。ご利用お待ちしております。

次回は2020年秋頃発行予定！  
楽しみに！



## 参考相談

日常の暮らし 仕事の疑問や問題の調査について係員がおてつだいます

文書 電話でもおたずねください

発行：2019年9月

名古屋市鶴舞中央図書館

電話：052-741-3131

FAX：052-733-6337

Twitter：@nagoyalibrary





What's this magazine?

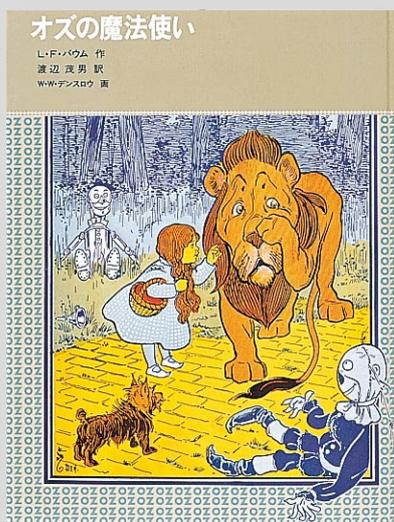
めがねとは

この冊子は、図書館で働いているわたしたちのことをうっすら知ってほしいという思いで作っています。名前の由来は図書館司書＝めがねというイメージから。

## ＼めがねな1冊／

### オズの魔法使い

ライマン・F・バウム 作 渡辺 茂男 訳  
ウィリアム・W・デンスロウ 画 福音館書店



作中、ドロシーたちがめがねをかける場面があります。これが全然、似合っていない！魔法がいきなり解けて、現実に引き戻されるぐらい似合っていないのです。オズの「魔法」の核心に触れる、結構重要な場面なのですけど。

タイトルしか知らないという方も、めがねの場面なんて覚えてない～という方も、この機会にぜひ読んでみてください。

\* 図書館の中での置き場所など詳しいことはおたずねくださいね。

## 第二回 サインが気になる。

図書館の中にはいろいろなサインがあります。その中には、普段あまり見慣れないものも。ここって何をする場所？ 中でどういう仕事をしてるの？ 本人たちに聞いてみました。



開かずの扉の向こう側には一体何が？

## 気になる① 図書選択室

愛称は「まねね」



購入状況などを一括管理しているPC。これがあるので、防犯上の理由から、選択室には直接入れないようになっています。



レトロでかわいいカードケース（錆び具合がたまらない！）。引き出しを開けると、中には「継続カード」がぎっしり。

その引き出しの中には、世界がつまっている。

図書館の本がどうやって選ばれているのか、みなさんをご存知でしょうか。名古屋市図書館の場合、実際に見本図書を見ながら選書をする「図書選択会議」を2週間に1回実施しています。現物選択をメインにしている図書館は、全国的にも珍しいそう（大半の図書館は、「図書目録」に載っている本のデータを手がかりにして選書をします）。

その「選択」が行われるのが図書選択室。部屋には見本図書が毎日続々と届きます。購入を判断する手がかりをなるべく増やすべく、届いた本にはいろいろな情報（リクエストがどのくらい寄せられているか、改訂版なのかなど）が書かれた紙が何枚かは含まれます。中でも面白いのが「継続カード」。年鑑や白書、シリーズものなど定期的に刊行されているものは、その都度購入状況がカードに追加され、次回以降の買い漏れを防いでいます。パソコンでのデータ管理が進む中、手書きのカードは、代々ここで働いてきた職員がいたことの証のようです。



長く刊行されているシリーズは「継続カード」が何枚にも。ひとつひとつ職員が手書きするので「その年の担当が誰だったか、筆跡でわかって面白い」のだとか。



選書されるのを待つ本の山（左）と選書の様子（右）。

### これからの選択に、「対話」をプラス。

一度の選択会議で見るのはおよそ800冊。名古屋市図書館全21館から職員が集まり、自分の図書館の利用状況をふまえ、必要と思う本を選んでいきます。会議の時間はおよそ3時間なので、計算すると…1分間に約4冊見ていることに！

新人の頃はもたついて流れを止めるので「ビーバーちゃん」と呼ばれる。



「どの図書館の職員も、本に対する知識があり、自分の館の蔵書構成（どんなジャンルの本が多いか少ないか）や利用状況を熟知しているからこそ、今日まで選書の質を落とさずやってこられたと思う。加えてこれからは、名古屋市図書館全体で必要な本はどれか？をもっと考えていけたらいい」。そう話すのは、選択を担当している収集整理系の向田係長。出版不況で見本図書が入りにくくなっている中、限られた予算でどれだけ多様なニーズに応えていけるか、その鍵は職員同士の「対話」だと言います。「例えばリクエストが入った本が自館の収集基準にそぐわない（内容が専門的、非常に高価など）時でも、話し合って中央館で購入することもある。各図書館の要望や考え方を吸い上げて、ていねいに議論できる場を、もっと充実させていきたいですね」。



向田係長。ちなみに3ページの「このドアは締め切り」サインは、係長がまだ平の職員だった10年前に作って以来、一度も変わってない(!)。図書館は時の流れが非常にゆっくり。



選択後の話し合いの様子。

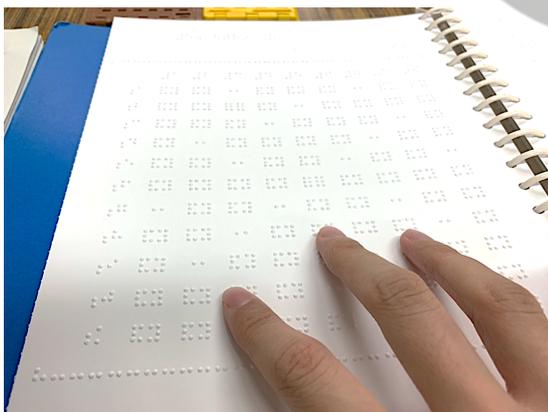
## 気になる② 点字文庫

玄関から続く点字ブロックをたどっていくと、そこに点字文庫はあります。昭和4年にできて以来、視覚に障害のある方に、点訳・音訳した図書を貸し出ししたり、対面朗読を行ったりして、その読書環境をサポートしています。



点字を打つ道具・鉄筆（てっぴつ）。持ち手の部分は桜の木だそう。メモを取る時など、ちょっとした場合に使います。

デージー（録音）図書。点字を読めない人もいるため、音声に訳されたデージー図書の利用は多いとのこと。表面には点字文庫のキャラクター「つるちゃん」が。



点字のクロスワードパズル！



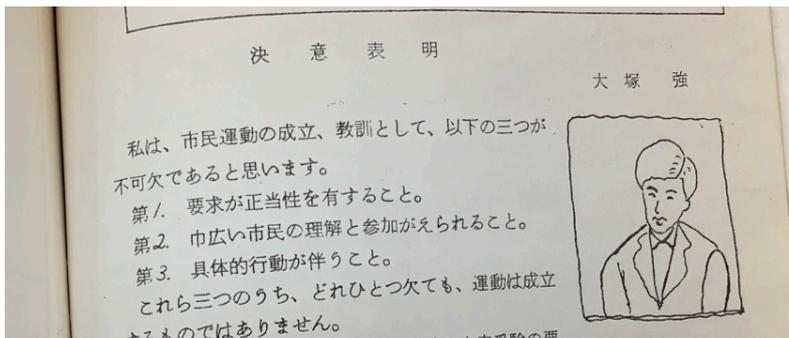
大塚司書（右）と山下司書。ふたりとも図書館では珍しい非めがね族。後ろの棚には、ここで製作したデージー図書がずらり。

思っていることは就職した時から変わらない。

「勉強しようと思っても点訳された教科書がないので苦労しました。図書館に行って、対面朗読してもらったこともありましたよ」。自らも視覚障害のある大塚司書はそう言います。図書館で働きたいと思ったのは「自分と同じように苦労している人たちの力になりたかったから」。以来約30年、点字文庫で目が見えない・見えづらい人たちのために働いてきました。

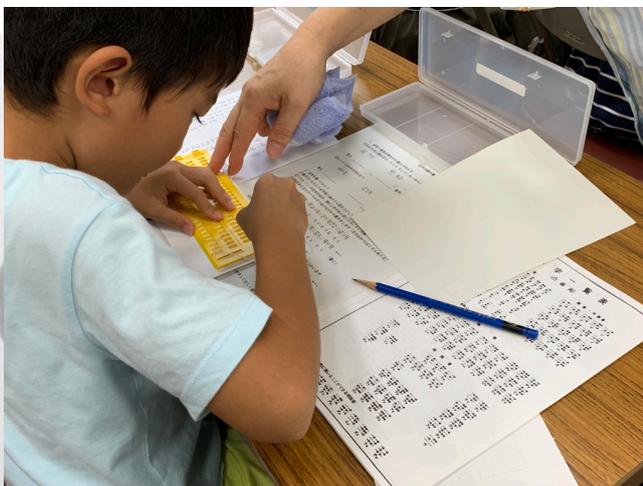
受験当時、点字での採用試験は実施されておらず、大塚司書は仲間とともに市民運動を起こし、点字受験を実現させました。運動中に書かれた「決意表明」には「障害者自身が利用者としてのみでなく、図書館職員として積極的に参加してゆかねばならない」と記されています。「あの時の思いは今も変わりません。僕の後に関わる人にも、同じ決意を持ってもらえるといいですね」。

大塚司書の「決意表明」  
（『道はひらかれた 名古屋における点字受験実現の記録』より）



山下司書は今年点字文庫に異動してきたばかり。「毎日が勉強です！」

点字文庫では、通常の仕事に加えて、文庫の存在を広く知ってもらう活動も行っています。下の写真は子どもを対象にした点訳体験講座の様子。



専用の器具を使って、自分の名前や好きな言葉を打ちます。真剣！

打った文章は大塚司書がその場で読みあげます。ちゃんと伝わるかな？ドキドキ。



点字文庫では、点訳・音訳資料の製作も行っています。そこで欠かせないのがボランティアさんたちの力。今回特別に「めがね」第一回を音訳してもらいました！やった～！

## どこまでが必要で、どこまでがおせっかいなのか。

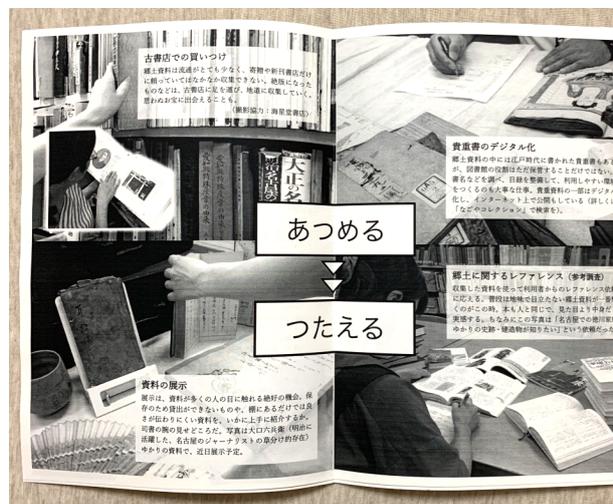
イラストや写真がいっぱいの「めがね」はボランティアさんから「音訳者泣かせ」と言われてしまいましたが…完成したものを聴いてみると、読む順番を工夫したり、図の説明を加えたりして、見事に音訳されていました！す、すごい！

音訳では、声に強弱をつけたり、感情を込めたりはしないそうです。あくまでフラットに必要な情報を伝えるのがコツだとか。「例えば載っているイラストをすべて説明で補うと、かえってわかりづらいこともあります。おせっかいになりすぎないようにするのが難しい。どんな本を訳すときも、毎回悩みながらやってますね」。

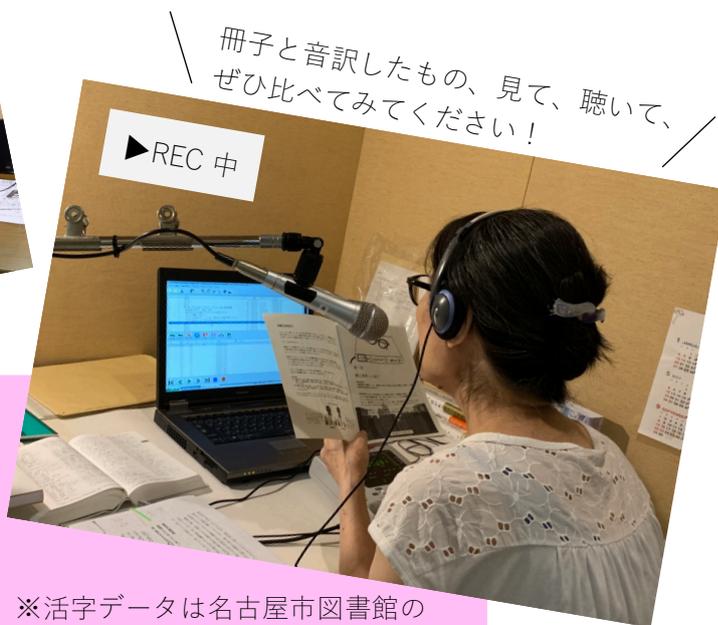


←表紙のイラスト。「表情は見えませんが、めがねをかけていることがわかります」。

仕事の説明→  
一目瞭然！のレイアウトにしたつもりでしたが、そのまま読むだけでは伝わりません。どれが「あつめる」「つたえる」の仕事か、言葉を補いながら読んでもらいました。



音訳も子ども体験講座を実施しています。「大好きな本なので、がんばって読みました」



冊子と音訳したもの、見て、聴いて、ぜひ比べてみてください！

実際に音声データを聴けます！

なごや動画館まるはっちゅ〜ぶに  
いますぐアクセス！  
→<https://youtu.be/vH8D80nBl1k>



※活字データは名古屋市図書館の  
サイト内にて「めがね」で検索を！

点字文庫のくわしい利用方法を知りたい、またはボランティアとして活動したい、という方は、電話 (052-741-3132) までお問い合わせください。

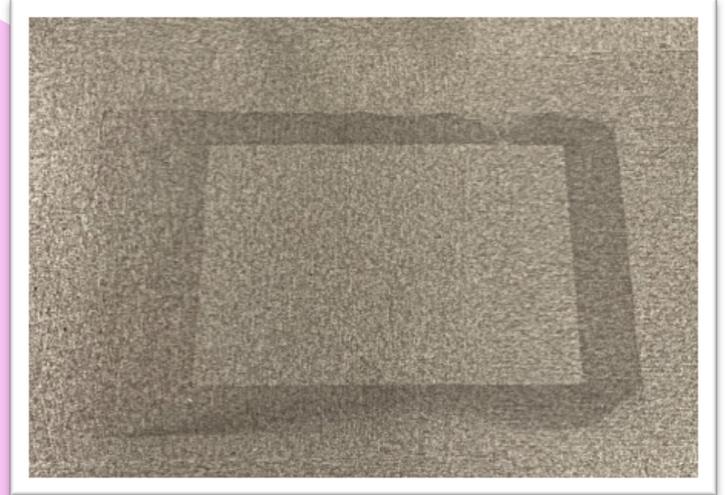
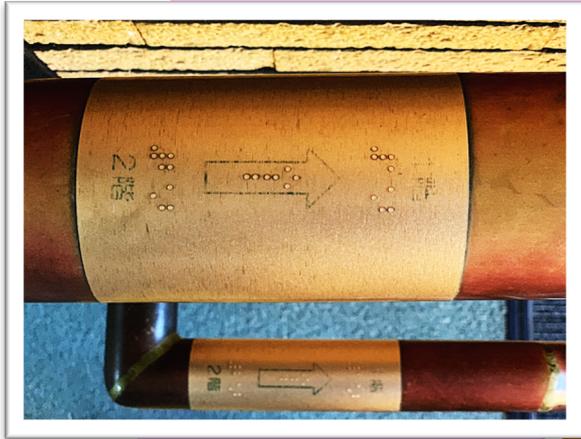
ちょっと休憩



Find us!

## 気持ちがうっすら伝わる サインいろいろ

手すりの点字。実物は結構重厚なつくり。



「無題」

かつて床に貼られていた痕跡だけが残る。「ない」  
ことで存在が際立つ哲学的なサイン（嘘です）。

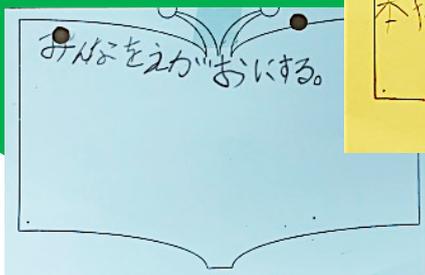
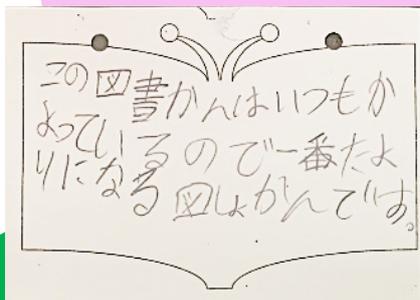
「明るい照明が必要な方用」



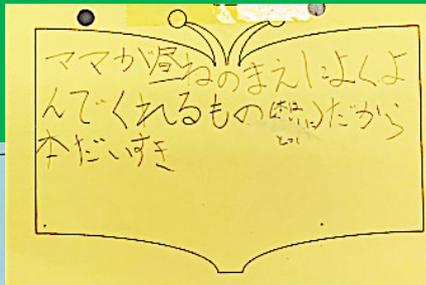
そうでしょうとも。電気スタンドですから。



飛脚は お二人のために  
おもてします！



おまけ  
子どもたちが書いてくれた  
「あなたにとって本とは？」



本が好き、図書館が好きって気持ちががががん伝わってきます！  
こういう声に支えられて働いてますよ～！ありがとうございます！！

棚と棚のすきまで  
切々と訴えています。

昔のレファレンス事例集  
今やネットから全国の図書館の事例が見られます  
（「レファレンス協同データベース」で検索を）。



### 気になる③ 参考相談

調べもののお手伝いをするレファレンスサービス。日本語に訳すと「参考相談」。相談には乗りますけど、わたしの提供する本は参考程度にしてね、得た知識をどうするかはあなた次第よってところでしょうか。

鶴舞中央図書館の2階は、この参考相談を専門に行うフロア。なじみのない人も多いはず、一体どんなところなのかご紹介します。



ちなみに制服はなく、エプロンの着用は自由です。

石谷司書  
素手でカエルをつかめる

足立司書  
フィンランドが好きで10回は行っているがサウナには全く興味がない

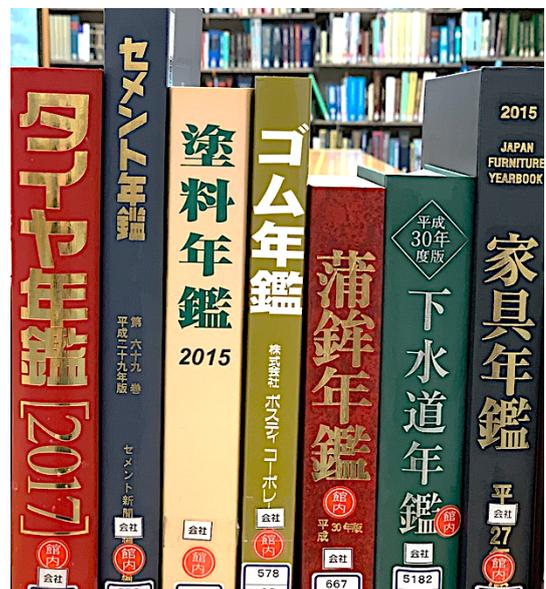
伊藤司書  
アナウンサー顔負けの美声の持ち主

田中司書  
五月女ケイ子のLINEスタンプを愛用中

### Q: ここで働きはじめてびっくりしたことは何ですか？

ここに来なかったら知らなかったような、面白い本がたくさん。イチオシは『蒲鉾年鑑』です！  
（田中）

調べ物で難しい漢字をたくさん入力するので、パソコンの予測変換がおかしなことに。「終わり」と打ちたい時も必ず「尾張」と出ます。  
（石谷）



フォントにも各業界のこだわりが感じられる年鑑。「会社情報コーナー」にあります。

さすが名古屋の図書館！



国書読み方辞典

植



←職員が紙に印刷したものを貼りつけた、手作り感たっぷりのサイン。時々風にたなびいて取れかけてる…。



**Q：自分の知りたいこと、本当に解決する  
でしょうか？**

窓口では、気軽に相談しやすい雰囲気を心がけています。まずはおたずねください！  
(伊藤)

他の図書館でわからなかったことも、ここでは手がかりとなる本をご案内できるかもしれません。レファレンスの「最後の砦」として、全部は解決できない場合も、何かしらお土産を持って帰ってもらえるように努力します！

(田中)

**Q：おもしろかった事例を教えてください。**

月代（さかやき）にするとき、昔は毛を抜いていたが、織田信長が剃ることに決めた。

(田中)

**サザエの心臓がどこにあるか。**

(足立)

**Q：子どもが来てもいいですか？**

大歓迎です！こちらが子どもから学ぶことも多く、勉強になります。（足立）

二世帯、三世帯で使っていただけるとうれしいです。

ご利用お待ちしております！（伊藤）

短歌俳句 愛情表現辞典

